

修了生の自主組織『はま農楽』

市民農業大学を修了した生徒たちが交流・情報交換・技術向上を深め、援農、緑化、農地保全などの活動を進めるために『はま農楽』という自主組織を設立しています。

110人ほどの会員で、花班、野菜班、果樹班で、それぞれ毎週フォローアップ研修を行い、収穫祭や収穫体験などをしています(新型コロナウイルス感染症の影響で中止もありました)。

援農については、昨年度は農家からの要望に応じて、延べ日数で、野菜942日、花卉128日、果樹1,342日の手伝いをしました。横浜のような大都市では、市民が農家を手伝う形の援農が進むと良いと思います。「はま農楽」の活動に、今後も期待します。



はま農楽のホームページはこちら

市民推進会議広報誌・バックナンバー公開中！

市民推進会議広報誌のバックナンバーを横浜市のHPで公開しています。市民の森をレポートしたナンバーもあるので、ぜひアクセスしてみてください。



横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民と一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています。

横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

Yokohama みどりアップActionとは?

みどりアップの現場を市民目線でレポートし、その場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力をお伝えします。私たち市民委員と一緒に緑のAction(行動・活動)を起こしましょう!!
※令和元年度に「みどりアップQ」からリニューアルしました。

市民推進会議広報誌



ご意見・ご感想を お待ちしております!

みどりアップActionについて、ご意見・ご感想、取り上げてほしい特集テーマなどのご要望をお待ちしています。いただきましたご意見・ご要望は、今後の発行の参考にさせていただきます。

詳しくはこちら!



Yokohama みどりアップ Action



表紙
再撮影予定

YokohamaみどりアップAction 第7号
(旧みどりアップQ) (市民推進会議広報誌第42号) 令和4年10月発行
編集: 横浜みどりアップ計画市民推進会議広報・見える化部会
発行: 横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

問合せ
横浜市環境創造局政策課(事務局)
TEL: 045-671-4214 FAX: 045-550-4093
E-mail: ks-mimiplan@city.yokohama.jp





①野菜の収穫方法実習

農や緑を支える人材の育成支援

農家での農作業の手伝い(援農)や、公園・緑地等でのボランティア活動など、地域で活躍できる人材の育成のために『市民農業大学講座』を開催しています。講座の様子と熱心な受講生の声を取材しました。
文: 高橋 秀忠、村松 晶子

市民農業大学講座とは？

野菜や果樹、草花、植木の栽培管理などの基礎を学び、座学で得た知識を実践しながら、栽培技術を身に付けていきます。

1年目は、主に保土ヶ谷区にある「環境活動支援センター」での講座(35回)。2年目は、市内の生産農家での農作業実習(全10回)になります。

修了生は、農家での農作業の手伝いや公園、緑地でのボランティアなどで活躍しています。

※実習回数は年度により異なる場合があります。



楽しみながら農業を学んでいます

受講生は30人。取材時は、受講生がトマトやナスなどの収穫、ニンジンの種まき、花壇の管理を4グループに分かれて、和気あいあいとした雰囲気の中で実習していました。

花壇の植栽計画は、各グループが話し合い、作成します。春は春夏の草花、秋は秋冬の草花による個性豊かな花壇が出来上がります。

受講のきっかけは様々で、

- ボランティア活動の中でさらに知識を深めたい人
- 市内に転入してから、程なくして「横浜農場」を知り農業について学べることに心が動いた人
- 昔やっていた花の手入れを再開したい人

など、横浜の緑を、さらに大事にしたい思いが伝わってきました。

中には、新規に農業参入を目指し、横浜ブランドの野菜を作りたい、と取り組んでいる人もいました。どなたも生き生きとした表情が印象的です。



②座学で当日のカリキュラムを学びます



③ニンジンの種まきを勉強中 ④花壇の寄せ植え実習 ⑤みんなでネギ畑の草取り ⑥農機具の実践



今後の活躍に期待！

2年間の受講の後は「農と緑の環境リーダー」として、農家での農作業のお手伝い(援農)や、公園・緑地などでのボランティア活動ができます。

すでにボランティア団体や、シルバー人材センターに登録している人もいて、さらに活動を広げることが期待できます。「援農を希望するけれど、農家が受け入れてくれるか心配」という声もあり、修了生と農家との十分な橋渡しが大事だと思います。

ここがみどりアップ計画

農とふれあう場づくりとして、市民が農を楽しみ、支援する取組を進めています。市民農業大学講座以外にも、子ども向けの農体験教室や、家族で参加できる農体験講座を、水田や農地で開催しています。

横浜みどりアップ 葉っぱー



野菜や花壇は、環境活動支援センター内の実習場でどなたでも見るができます。